

Racing Development

TRD

NEW STYLE ONE MAKE RALLY

*Vitz challenge*Round. 1
in
長野

11 May 2008



トヨタ部品長野共販株式会社

**2008シーズン開幕戦「長野ラウンド」
全国から48台が集合!!**

5月11日(日)、連休明けとしては珍しく早朝に雨が雪に変わるという不安定な天候ではあったが、今シーズンもヴィッツチャレンジャーたちは明るい表情でスタート会場の菅平高原に集結した。

48台の参加の中にはラリー初参加というクルーが数台見受けられ、このイベントの「入門者向け」としての意義も感じられる。また、1500ccのクラスも、今年からは新たにクラス1(オープン)、クラス2(チャレンジ)の2クラスが設定され、それぞれ11台・6台の参加があった。このクラスは事務局への問い合わせも多く、今後益々の参加増が期待されている。

**TRD Vitzchallenge
2008 Rd.1 in NAGANO****Event data**

- 主催
トヨタモータースポーツクラブ(TMSC)
チーム プロクルーズ(T-PROCREWS)
- 開催日
2008年5月11日(日)
- 開催エリア
長野県内
- スタート会場
菅平高原裏太郎駐車場
- サービスパーク
菅平高原裏太郎駐車場
- ゴール会場
長野松代ロイヤルホテル
- セクション数
2
- SS本数
6本
- SSトータル距離
11.01km
- 総走行距離
約130km
- 参加台数
48台
Class 1 11台
Class 2 5台
Class 3 11台
Class 4 21台
- 完走台数
48台(不出走0台)
- 取材媒体
株式会社ニューズ出版
WRC PLUS 2008 (モータースポーツ誌)

いよいよスタート!



セレモニアルスタートゲート前に並ぶClass1のヴィッツRS。
ラリーコースは、菅平高原近辺の林道2本とスキー場に設定された本格的なものとなった。当日は雨や霧といった天候に見舞われ、自然が参加者を苦しめることは必至だが、事前の安全対策とドライバーズブリーフィングでの注意を受け、各車はさらに気を引き締めた様子で次々とスタートしていく。



初参加者や初心者を対象にサインボードなどの説明と共に当日のコンディションについてのアドバイスも行われた。



スタート前車検。48台すべての車両が適正かつ安全に走行できることをチェックする。



スタート前には大会MCが参加者全員に本日の意気込みを聞いたり、楽しい話題をして、選手たちの緊張を和らげていた。



受付に並ぶ参加者。長年SCP10で参加していた鳥海選手は今年からヴィッツRSに転向し、クラス2に参加する。

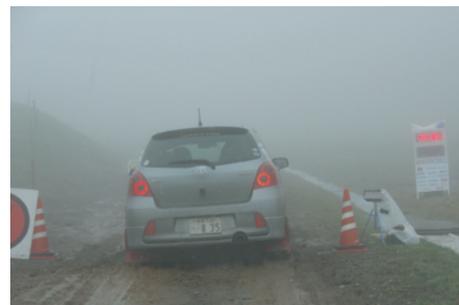


レキでコンディションを確認後、舗装コース・ダートSSどちらを重視するかを決め、改めて空気圧を調整する選手も多く見受けられた。

濃霧と雨の難しいコンディションの中、全車完走!!



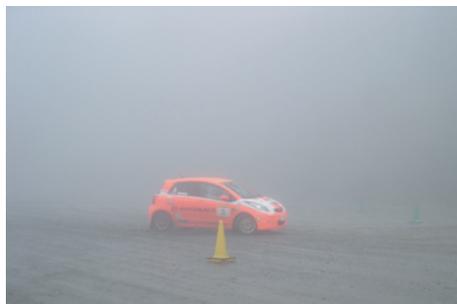
まさに視界ゼロ。しかもこの霧は1分ごとに様相を変えていく。「運」もまた強さのうち?!



今回の長野ラウンドは、SSの8割で1コーナー先の視界すら遮られる濃霧に見舞われ、また時には小雨が降り路面もスリッピーとなった厳しいコンディションではあったが、なんと1台もリタイヤを出すことがなく、全車完走という結果で終えることができた! TC(タイムコントロール)前では、前後ゼッケンの選手同士間でも、「このコンディションをどう走るか?」といった情報交換が行われていたようだ。



クラス1 岩波 敏樹/山岸 佑也組



クラス1 増川 智/馬場 裕之組



クラス1 松浦 一也/成松 亮組



クラス2 寺田 仁/新井 祐一組



クラス2 和田 謙一/和田 伸介組



クラス3 島山 貴之/石倉 せいじん組



クラス3 毛受 広子/保見 加織組



クラス4 諏訪 幸夫/諏訪 典子組



クラス4 和田 利明/落合 弘志組

表 彰 式

全員完走を遂げた各車が連続々とゴール後、表彰式が長野松代ロイヤルホテルで行われた。今年から4クラスとなったことで表彰式はさらに盛大さを増し、また、多数の協賛・後援各社からの豪華章典に選手たちの嬉しさもひとしおだ。

Class 1



Class 2



今回初参加の方々



Class 3



Class 4



次戦「Rd.2 in 高山」は、6月8日(日) 岐阜県高山周辺で開催いたします。